

本の上の映画館

 mediaSeven

1

2012 January



特集

Focus アラン・ドロン

特集 Focus アラン・ドロン

会場：プレゼンテーションスタジオ 定員：80名 入場：無料
主催：川口市立中央図書館 運営：NPO Community Design Council

- 開場は各日上映時間の30分前です。
- 申し込みは不要ですので、上映当日に会場までお越しください。
- 音の聞こえづらい方をサポートする磁気ループシステムを導入しています。Tモードつき補聴器をお持ちでない方には、専用受信機を貸し出します。

1月8日(日) 14:00～ (上映時間 135分)

『仁義』

マルセイユ・パリ間の夜行列車のコンパートメント内、刑事マッティが寝入ると容疑者ボーゲルは安全ピンを取り出し、針の先を曲げ手錠の鍵穴にさしこんだ…。一方マルセイユから程遠くない刑務所では、もう出獄というコレーに古顔の看守が宝石店を襲う仕事をもちかけていた。
監督：ジャン＝ピエール・メルヴィル / 出演：アラン・ドロンほか / 1970年 / フランス / DVD / 字幕

1月17日(金) 19:00～ (上映時間 120分)

『アラン・ドロンのゾロ』

剣の達人ドン・ディエゴは故郷スペインに帰る途中、南米カルタヘナの港町で、旧友のミゲルに会った。ミゲルはニュー・アラゴンの新総督に任じられ、妻子を伴って任地に赴く途中だった。再会を喜び、祝福の杯を交わした夜、ミゲルは何者かに暗殺されてしまった。ディエゴは親友ミゲルの死を厚く弔い、復讐を誓ってニュー・アラゴンへ行く決心をした。
監督：ドゥッチョ・テッサリ / 出演：アラン・ドロンほか / 1975年 / イタリア / DVD / 字幕

1月18日(水) 19:00～ (上映時間 89分)

『ヌーヴェルヴァーグ』

エレナ・トルラート・ファヴリー二伯爵令嬢は国際的な大企業グループの実質的な支配者だ。ある日、自らの車を運転して外出した彼女は男を轢きそうになる。ロジェと名乗るその頼りなさげな男はエレナの屋敷に住みつく…。
監督・脚本・編集：ジャン＝リュック・ゴダール / 出演：アラン・ドロンほか / 1990年 / フランス＝スイス / DVD / 字幕

1月28日(土) 14:00～ (上映時間 186分、途中休憩あり)

『山猫』

1860年、イタリアは近代国家に統一される歴史的要変の時を迎え、山猫の紋章で知られるシチリアの名門帰属サリーナ公爵家にもその波は押し寄せていた。一方、次の世代である公爵の甥のタンクレディは革命軍に参加し、時代の変化に機敏に適応していた。カンヌ国際映画祭でグランプリに輝いたヴィスコンティの代表作。
監督：ルギーノ・ヴィスコンティ / 出演：パート・ランカスターほか / 1963年 / イタリア＝フランス / DVD / 字幕

変わらない横顔の男

今月の本の上の映画館は、俳優アラン・ドロンの特集です。『太陽がいっぱい』でスターとしての人気を博したドロンですが、映画俳優になるまでは海軍、セールスマン、ドアボーイ、肉屋など職を転々としていました。カンヌ映画祭が開かれていた避暑地を上半身裸で歩いていていたところ、ある監督にスカウトされ、そこから彼の俳優人生が始まります。この逸話からも分かる通り、その美貌は世界中の映画ファンを虜にしました。

『仁義』はギャング映画で、ドロンは刑期を終えたばかりの男を演じています。出演作のほとんどは基本的に恋愛映画とギャング映画に大別できますが、彼には昔から黒い噂もささやかかれ、「俳優がギャングを演じているのではなくギャングが俳優になっただけだ」と言われることもあります。刑事役のイヴ・モンタンの渋い演技にも注目です。

『アラン・ドロンのゾロ』は「怪傑ゾロ」を演じた痛快なアクション映画です。二枚目の裏の顔と三枚目の表の顔を使い分けるドロンの演技は軽妙で、とても楽しい映画です。

『ヌーヴェルヴァーグ』はジャン＝リュック・ゴダール監督による作品です。芸術的な作風で知られるゴダールと、娯楽作品が多いドロンの組み合わせは話題を呼びました。ゴダールは「ドロンを撮るということは一本の樹を撮るのと同じようなことだ」と言い、ドロンの存在感を高く評価していました。

『山猫』では < 死 > の象徴のようなバート・ランカスターに比べ、< 生 > そのものの様な生き生きとした演技を見せるドロンが見ものです。

2012年もぜひ本の上の映画館をお楽しみください。

2月の上映予定

- 6日(月) 19:00～ デカログ『ある殺人に関する物語 / ある愛に関する物語』
- 19日(日) 14:00～ 『トリコロール / 青の愛』
- 25日(土) 14:00～ 『トリコロール / 白の愛』
- 29日(水) 19:00～ 『トリコロール / 赤の愛』

川口市立映像・情報メディアセンター
メディアセブン

〒332-0015
埼玉県川口市川口1-1-1 キュポ・ラ7F
●開館時間 月～金 10:00-21:00 / 土日祝日 9:00-18:00
●休館日 毎月第3金曜日(機器調整日)、1月1日-4日
●お問い合わせ Tel. 048-227-7622 Fax. 048-226-7724
●URL <http://www.mediaseven.jp>

※リニューアルのため、2011年12月31日
夜から2012年1月5日早朝まで、公式ウェブ
サイトを閲覧停止させていただきます。

